

ENFOCUS



**PITSTOP
PRO2022**

クイック スタート ガイド

目次

1. 著作権	3
2. イントロダクション	4
2.1. 本ガイドの使い方.....	4
2.2. PitStop Pro文書の概要.....	4
3. PitStop Pro のインストール	6
4. アクティベート PitStop Pro	7
4.1. PitStop Proのアクティベート（従来のライセンス）.....	7
4.1.1. Enfocusのバージョン情報 PitStop Proダイアログを開く.....	8
4.1.2. 30 日間の試用バージョンをアクティベート.....	8
4.1.3. PitStop Pro をアクティベートする(オンライン).....	9
4.1.4. PitStop Pro をアクティベートする(オフライン).....	9
4.1.5. コマンドライン ツールを使用してPitStop Proをアクティベートする (macOS).....	13
4.1.6. コマンドライン ツールを使用してPitStop Proをアクティベートする (Windows).....	14
4.1.7. 使用するEnfocusライセンスを管理する.....	15
4.2. サブスクリプションIDのアクティベート（サブスクリプション）.....	19
5. サポートを受ける	22
5.1. Enfocus ID の管理.....	22
5.2. 問題の場合の対応.....	23
5.3. サポート情報の確認.....	23
5.4. 問題のレポート.....	24
6. PitStop Proツール セットの紹介	25
6.1. ツールの概要.....	25
6.1.1. 編集ツール.....	25
6.1.2. プリフライトプロファイル.....	26
6.1.3. グローバル変更.....	26
6.1.4. アクションリスト.....	27
6.1.5. QuickRun.....	27
6.1.6. 変数セット.....	28
7. e ラーニング入門コース	29

1. 著作権

© 2022 Enfocus BV all rights reserved. Enfocus は、Esko の子会社です。

Certified PDF は Enfocus BV の登録商標です。

Enfocus PitStop Pro、Enfocus PitStop Workgroup Manager、Enfocus PitStop Server、Enfocus BoardingPass、Enfocus Connect YOU、Enfocus Connect ALL、Enfocus Connect SEND、Enfocus StatusCheck、Enfocus CertifiedPDF.net、Enfocus PDF Workflow Suite、Enfocus Switch、Enfocus SwitchClient、Enfocus SwitchScripter、Enfocus TestDrive、Enfocus SwitchScriptTool、Enfocus Browser、および Enfocus Appstoreは、Enfocus BV の製品名です。

Acrobat、Acrobat、Distiller、InDesign、Illustrator、Photoshop、FrameMaker、PDFWriter、PageMaker、Adobe PDF Library™、Adobe ロゴ、Acrobat ロゴ、および PostScript は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Datalogics、Datalogics ロゴ、PDF2IMG™、および DLE™ は Datalogics, Inc. の商標です。

Apple、Mac、MacOS、Macintosh、iPad および ColorSync は、米国およびその他の国における Apple Computer, Inc. の商標です。Windows、および Windows Server は Microsoft Corporation の登録商標です。

ここで表示される PANTONE® カラーは PANTONE 認定基準に沿わない場合があります。正確なカラーについては最新の PANTONE カラー パブリケーションをご覧ください。PANTONE® およびその他の Pantone, Inc. の商標は Pantone, Inc. の所有物です。©Pantone, Inc., 2006。

OPI は Aldus Corporation の商標です。

Quark、QuarkXPress、QuarkXTensions、XTensions およびその他に使用される XTensions ロゴは Quark, Inc. と Quark 関連会社の商標です (Reg. U.S. Pat. & Tm. Off.)。

本製品およびその使用に関しては Markzware より米国特許第 5,963,641 号に基づく許諾を受けております。

その他のブランド名や製品名も、各所有者の商標または登録商標である可能性があります。製品やサービスの全ての仕様、用語および説明は、事前の通知や助言なしに変更される場合があります。

2. インTRODクシヨN

2.1. 本ガイドの使い方

このクイック スタート ガイドは、ユーザーが PitStop Pro をすばやくインストールして使い始めることができるようにサポートすることを目的としています。

このガイドの内容により、ソフトウェアのコア機能を使用して作業するための基礎知識を学ぶことができます。

2.2. PitStop Pro 文書の概要

完全な PitStop Pro ドキュメントは複数のマニュアルから構成されています。

構成	説明 / 場所
クイック スタート ガイド	PitStop Pro のインストールとアクティベーションの方法について説明し、PitStop Pro の機能について簡潔に紹介します。 http://www.enfocus.com/manuals/QuickStartGuide/PP/22/enUS/home.html
リファレンス ガイド	PitStop Pro の機能を詳細に説明します。 http://www.enfocus.com/manuals/ReferenceGuide/PP/22/enUS/home.html
アクションリストライブラリ アクションマニュアル	アクションリストがダウンロード可能なライブラリ： http://www.enfocus.com/en/support/downloads/pitstop-action-lists 使用可能なすべてのアクションの概要が表示されます。 http://www.enfocus.com/manuals/Extra/Actions/22/home.html
グローバル変更マニュアル	使用可能なすべてのグローバル変更の概要が表示されます。 http://www.enfocus.com/manuals/Extra/GlobalChanges/22/home.html

構成	説明／場所
プリフライトプロファイルライブラリ	<p>プリフライトプロファイルがダウンロード可能なライブラリ：</p> <p>http://www.enfocus.com/en/support/downloads/pitstop-preflight-profiles</p>
プリフライトチェック	<p>プリフライトプロファイルで使用可能なチェックの概要。</p> <p>http://www.enfocus.com/manuals/Extra/PreflightChecks/22/home.html</p>
レポートテンプレートのカスタマイズ	<p>会社ロゴの追加、レポートで使用されるヘッダーまたは色の変更など、プリフライトレポートをカスタマイズする方法について説明します。</p> <p>http://www.enfocus.com/manuals/Extra/CustomReportTemplate/22/home.html</p>
プリフライトレポート ヘルプ	<p>プリフライトレポートにあるメッセージの意味を説明し、問題の解決方法を示します。</p> <p>http://www.enfocus.com/manuals/Extra/PreflightReportHelp/22/home.html</p>
インタラクティブな e ラーニング コース、プロダクトムービー、ウェビナー、レコーディングされたワークショップなどのトレーニング資料。	<p>Enfocus Web サイトの「学習」セクションに移動して、PitStop コースを検索します。レベル（初心者、中級、上級）と受講するコースのタイプ（e ラーニング、映画、ウェビナー、ワークショップ）を指定できます。</p> <p>https://www.enfocus.com/learn/pitstop/all</p>
解決策の記事	<p>https://www.enfocus.com/en/support/known-issues-and-solutions</p>

3. PitStop Pro のインストール

PitStop Pro は Adobe Acrobat Standard、Pro、DC のプラグインです。したがって、PitStop Pro をインストールする前に Adobe Acrobat を終了する必要があります。



注: Adobe Acrobat Reader DC はサポートされていません。詳細およびバージョン情報については、[Enfocus の Web サイト](#)に掲載されているシステム要件を参照してください。

PitStop Pro をインストールする手順

1. 次のいずれかを実行します。

- Enfocus Product CD-ROM または DVD を CD-ROM/DVD-ROM ドライブに挿入します。
- PitStop Proの購入時に受け取った指示に従い、Enfocus WebサイトからPitStop Proをダウンロードします。

2. 必要に応じて、インストーラをダブルクリックします。

3. 画面に表示されるインストールの指示に従います。

PitStop ProはAcrobatインストールフォルダにインストールする必要があります。PitStopは自動的に最新バージョンを検出しますが、必要に応じてインストールフォルダを変更できます（例：別のAcrobatバージョンがインストールされている場合など）。

- Windowsでは、別のフォルダを選択できます。
- Macでは、任意のAcrobatインストールを選択できます。

PitStop Proをインストールしたら、Adobe Acrobatを開くと、PitStop Proがアプリケーションのメニューバーに表示されます。PitStop Proエントリをクリックすると、Enfocus PitStop Proのバージョン情報パネルが開きます。

PitStop Proをアクティベートする必要があります。[アクティベート PitStop Pro 7 ページ](#)のを参照してください。

4. アクティベート PitStop Pro

PitStop Proを使用するには、製品をアクティベートする必要があります。

手順は購入したライセンスタイプによって異なります。

- 従来の永久ライセンスの場合、購入時に受け取った製品キーをアクティベートする必要があります。[PitStop Proのアクティベート（従来のライセンス）](#) 7 ページのを参照してください。
- サブスクリプションの場合、サブスクリプションIDをアクティベートして、契約期間を開始する必要があります。[サブスクリプションIDのアクティベート（サブスクリプション）](#) 19 ページのを参照してください。

サブスクリプションライセンスは日本語と中国語には提供されていません。

Enfocus ID

ほとんどのEnfocus製品で、Enfocus IDが必要です。これはEnfocusとのすべてのコミュニケーションで使用される無料のアカウントです。これはEnfocus Webサイトの[アカウントセクション](#)（**Enfocus ID**の取得リンクをクリック）から作成できます。

4.1. PitStop Proのアクティベート（従来のライセンス）

Enfocus PitStop Proをインストールしたら、PitStop Proダイアログからアクティベートできます。このダイアログはEnfocus PitStop Proの初回使用時に自動的にポップアップ表示されます。自動的に開かない場合は、自分で開けます。[Enfocusのバージョン情報 PitStop Proダイアログを開く](#) 8 ページのを参照してください。

次の2つのオプションを選択できます。

- 購入する前にアプリケーションを試用する場合、試用版としてアクティベートできます。このバージョンは30日間有効です。
- アプリケーションを購入した場合、永続ライセンスのアクティベートを行うこととなります。

複数の方法でEnfocus PitStop Proをアクティベートできます。

- 試用版をアクティベートする場合は、[30 日間の試用バージョンをアクティベート](#) 8 ページのを参照してください。
- インターネットに接続しないでEnfocus PitStop Proをコンピュータにインストールした場合は、[PitStop Pro をアクティベートする\(オフライン\)](#) 9 ページのを参照してください。
- インターネットに接続してEnfocus PitStop Proをコンピュータにインストールした場合は、[PitStop Pro をアクティベートする\(オンライン\)](#) 9 ページのを参照してください。
- 標準製品キーではなくボリュームライセンス製品キーの場合は、物理的に各コンピュータにアクセスせずに、ネットワーク上の複数のシステムをアクティベートすることができます。[コマンドライン ツールを使用してPitStop Proをアクティベートする \(Windows\)](#) 14 ページのまたは[コマンドライン ツールを使用してPitStop Proをアクティベートする \(macOS\)](#) 13 ページのを参照してください。

PitStop Pro と Workgroup Manager

Enfocus PitStop Workgroup Manager はライセンスとリソース (例: アクションリストとプリフ ライトプロファイル) を一元的に管理します。Enfocus Workgroup Manager と合わせて PitStop Pro を使用する場合、PitStop Pro では、Enfocus Workgroup Manager からフローティングライ センスを取得できます。この場合、PitStop Proをアクティベートする必要はありません。詳細 については、Enfocus PitStop Workgroup Managerマニュアルを参照してください。

4.1.1. Enfocusのバージョン情報 PitStop Proダイアログを開く

バージョン情報PitStop Proダイアログでは、PitStop Proをアクティベートできます。

このダイアログを開く手順

1. 次のいずれかを実行します。
 - macOS:
 - メニューバーから、**[Acrobat]** > **[サードパーティのプラグインについて]** > **[Enfocus PitStop Pro]**の順にクリックします。
 -  J キーを押します。
 - Windows:
 - メニューバーから、**[ヘルプ]** > **[サードパーティのプラグインについて]** > **[Enfocus PitStop Pro]**の順にクリックします。
 - Alt+Ctrl+Jを押します。
2. ライセンスを管理するには、ライセンスタブに切り替えます。

4.1.2. 30 日間の試用バージョンをアクティベート

30 日間の試用バージョンをアクティベートする手順

1. Adobe Acrobat Pro で PDF 文書を開きます。
2. PitStop Pro エントリのいずれかをクリックします。
たとえば、メニューバーで、**[PitStop Pro]** > **[アクションリストの実行]**をクリックします。
[PitStop Proバージョン情報]ダイアログボックスが表示されます。
3. **Enfocus PitStop Pro**のバージョン情報ダイアログボックスのライセンスタブで、Enfocus IDとパスワードを入力します。
Enfocus IDはすべての以前のEnfocusアカウント (Webショップ、製品アクティベーション、サポートポータルアカウント) に代わる新しいアカウントです。まだない場合は、**Enfocus ID**の作成リンクをクリックし、画面の手順に従います。
4. サインインをクリックします。

5. [試用開始] をクリックします。

4.1.3. PitStop Pro をアクティベートする(オンライン)

まずはじめに

- Enfocus Web サーバーと通信するためにインターネットアクセスが必要です。
- 製品キーが必要です。
- ファイアウォールを使用している場合は、必ずポート80と443を使用してPitStop Proと<https://licensingervices.esko.com>との通信を許可します。

アクティベートするには PitStop Pro

1. **Enfocus PitStop Pro**のバージョン情報ダイアログボックスのライセンスタブで、Enfocus IDとパスワードを入力します。
Enfocus IDはすべての以前のEnfocusアカウント（Webショップ、製品アクティベーション、サポートポータルアカウント）に代わる新しいアカウントです。まだない場合は、**Enfocus ID**の作成リンクをクリックし、画面の手順に従います。
2. サインインをクリックします。
3. [製品キーのアクティベート]をクリックします。
4. 次のいずれかの方法でプロダクトキーを入力します。
 - [アクティベートされたライセンス]フィールドにプロダクトキーを入力するか、コピーして貼り付けます。
 - プロダクトキーライセンスファイル（例：LicensesBackup.html）を参照するか、[アクティベートされたライセンス]フィールドにドラッグします。
5. [アクティベート]をクリックします。
Enfocus Web サーバーと通信し、PitStop Proをアクティベートします。
6. ダイアログを閉じるには [閉じる] をクリックします。

4.1.4. PitStop Pro をアクティベートする(オフライン)

まずはじめに

- PitStop Proがインストールされているオフラインシステムの他に、Enfocus Web サーバーと通信するために、インターネットに接続したシステムが必要です。
- 製品キーが必要です。
- 以前にEnfocus製品をインストールしていない場合、まずアプリケ#ションを初期化する必要があります。「[PitStop Proの初期化\(オフライン\)](#) 11 ページの」を参照してください。

アクティベートするには PitStop Pro

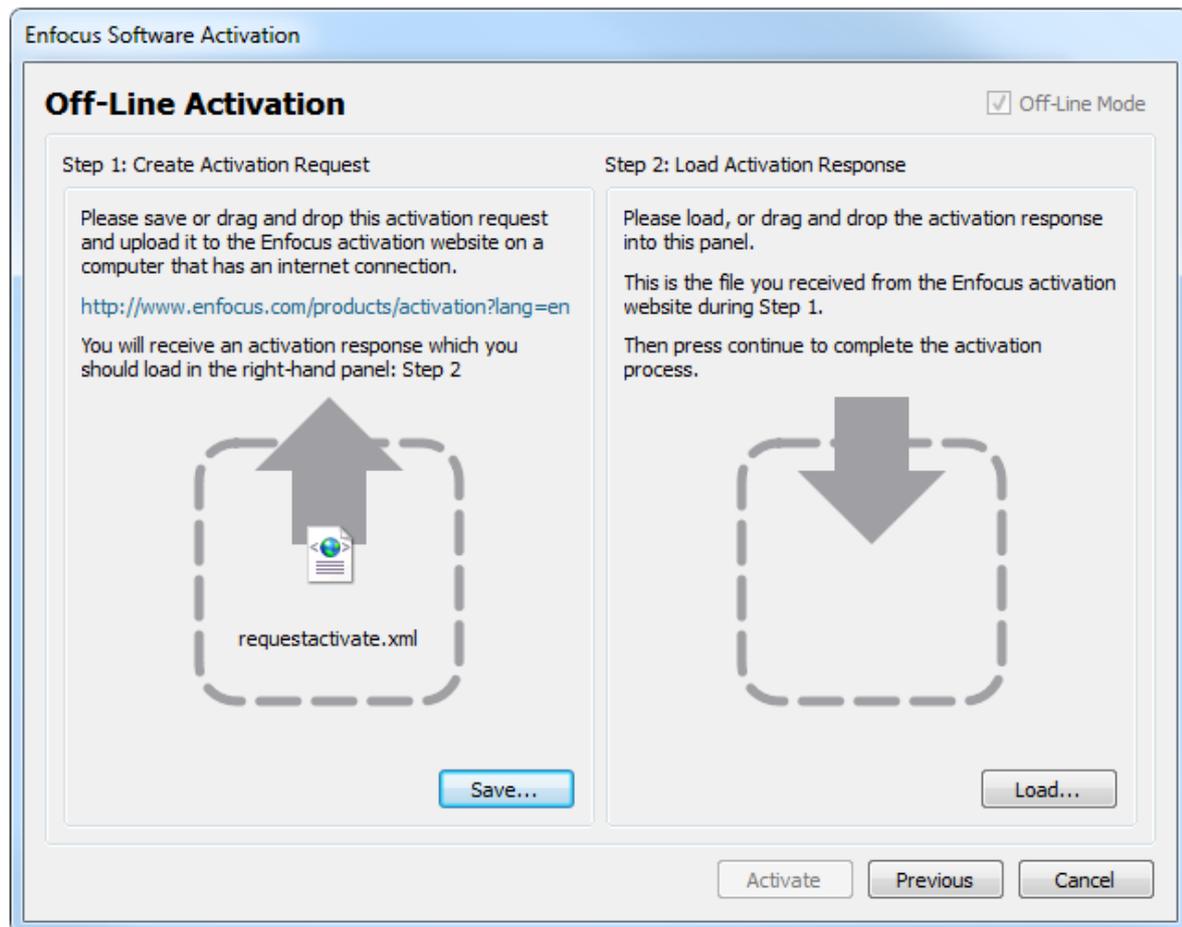
1. PitStop Proのあるオフラインシステム:
 - a. **Enfocus PitStop Pro**のバージョン情報ダイアログボックスのライセンスタブで、Enfocus IDとパスワードを入力します。

Enfocus IDはすべての以前のEnfocusアカウント（Webショップ、製品アクティベーション、サポートポータルアカウント）に代わる新しいアカウントです。まだない場合は、**Enfocus ID**の作成リンクをクリックし、画面の手順に従います。

- b. サインインをクリックします。
- c. オフラインアクティベーションをクリックします。

このボタンは、インターネット接続がないことがPitStop Proで検出された場合に表示されます。何らかの理由でこのボタンが表示されない場合は、タブの下部のオフラインモードチェックボックスを選択します。
- d. [キーのアクティベート]をクリックします。
- e. 次のいずれかの方法でプロダクトキーを入力します。
 - ・ [プロダクトキー]フィールドにプロダクトキーを入力するか、コピーして貼り付けます。
 - ・ プロダクトキーライセンスファイル（例：LicensesBackup.html）を参照するか、[プロダクトキー]フィールドにドラッグします。
- f. [アクティベート]をクリックします。

次のダイアログボックスが表示されます。



- g. [ステップ1]で[保存]をクリックします。

PitStop Proはrequestactivate.xmlファイルを作成します。

2. requestactivate.xmlをオンラインシステムで使用できるようにします。
例：requestactivate.xmlをUSBスティックにコピーし、USBをオンラインシステムに接続します。
3. オンラインシステム:
 - a. <http://www.enfocus.com/products/activation?lang=en> にアクセスします。
 - b. requestactivate.xmlをアップロードし、[続行]をクリックします。
 - c. Enfocus IDパスワードを入力し、[続行]をクリックします。
 - d. [続行] をクリックして確認します。
Enfocus Web サーバーによって activation-response.xml が生成されます。
 - e. ファイルをダウンロードします。
4. PitStop Proのあるオフラインシステム:
 - a. ステップ2で activation-response.xml をアップロードします。
 - b. [アクティベート]をクリックします。
PitStop Proがアクティベートされます。
 - c. 確認ダイアログを閉じるには [閉じる] をクリックします。

4.1.4.1. PitStop Proの初期化 (オフライン)

この手順はPitStop Proを初期化する方法を説明します。この手順は、次の場合にのみ必要です。

- Enfocus製品を特定のコンピュータ上で初めてアクティベートする場合。
- PitStop Proをオフラインでアクティベートする場合。インターネットへのアクセスができないコンピュータなどを使用している場合です。オンラインアクティベーションの場合、初期化はバックグラウンドで自動的に実行されます。

必要条件:

- Enfocus Webサーバーとの通信を行うには、インターネットにアクセス可能な追加のコンピュータが必要です。
- Enfocus IDが必要です。インターネットに接続しているコンピュータでEnfocus IDを作成するには、Enfocus Webサイトのアカウントセクションに移動し、画面の指示に従います。フォームへの入力完了すると、Enfocus IDとパスワードが記載された電子メールを受信します。

動作手順:

PitStop Proの初期化には3つのステップがあります。

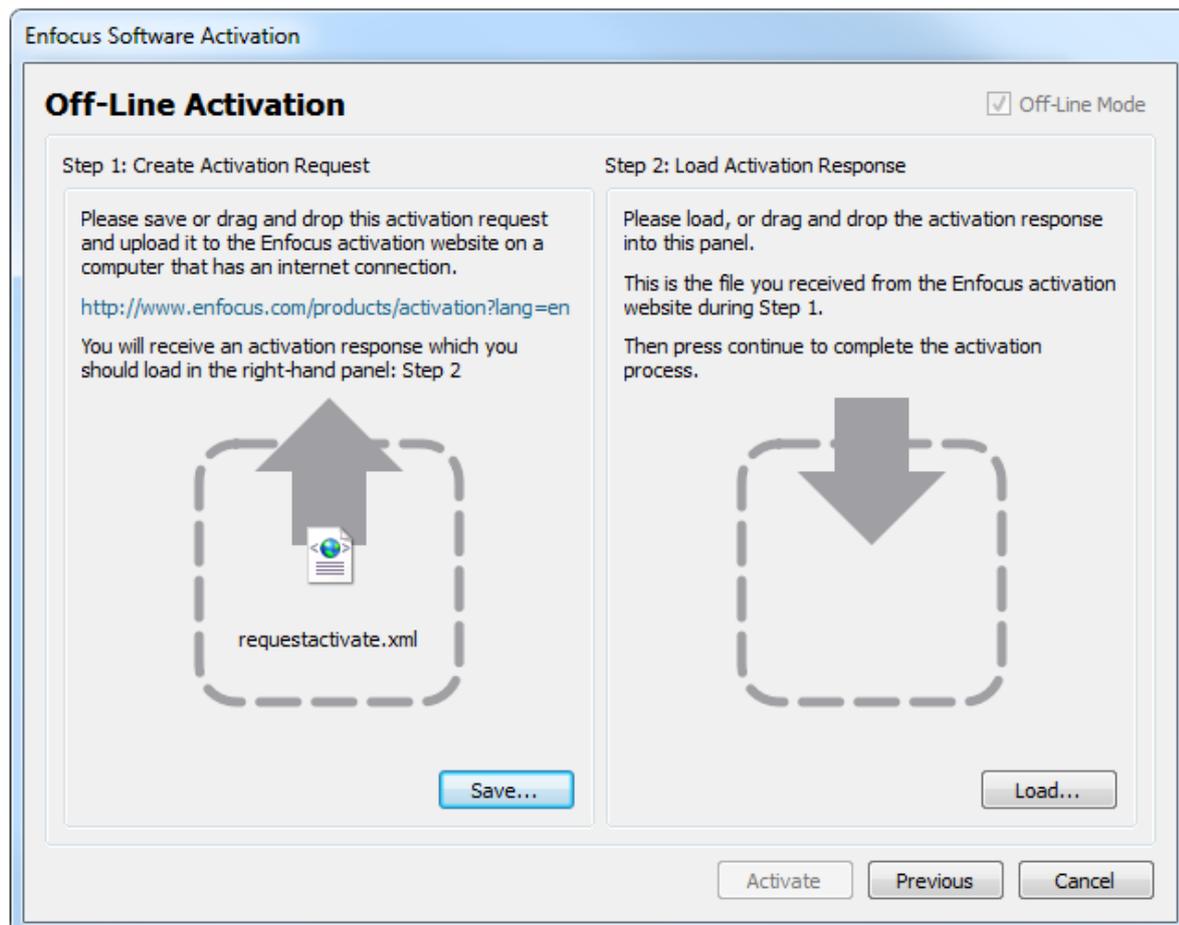
1. PitStop Proをインストールしたコンピューター上で初期化の要求を作成します。
2. このファイルを、インターネットにアクセス可能な別のコンピューターに保存して、EnfocusアクティベーションWebサイトにアップロードします。Enfocusは応答ファイルをユーザに提供します。
3. PitStop Proをインストールしたコンピューターに応答ファイルをアップロードします。

これらの各ステップについては以降で説明します。

初期化するには PitStop Pro

1. PitStop Proのあるオフラインシステム:

- a. **Enfocus** のバージョン情報 **PitStop Pro** ダイアログボックスのライセンスタブで、Enfocus IDとパスワードを入力します。
Enfocus IDはすべての以前のEnfocusアカウント（Webショップ、製品アクティベーション、サポートポータルアカウント）に代わる新しいアカウントです。まだない場合は、**Enfocus ID**の作成リンクをクリックし、画面の手順に従います。
- b. サインインをクリックします。
- c. オフラインアクティベーションをクリックします。
このボタンは、インターネット接続がないことがPitStop Proで検出された場合に表示されます。何らかの理由でこのボタンが表示されない場合は、タブの下部のオフラインモードチェックボックスを選択します。
- d. [キーのアクティベート]をクリックします。
- e. 次のいずれかの方法でプロダクトキーを入力します。
 - [プロダクトキー]フィールドにプロダクトキーを入力するか、コピーして貼り付けます。
 - プロダクトキーライセンスファイル（例：LicensesBackup.html）を参照するか、[プロダクトキー]フィールドにドラッグします。
- f. [アクティベート]をクリックします。
次のダイアログボックスが表示されます。



エントリ	説明
<product_key>	ボリュームライセンスプロダクトキー
<account_name>	Enfocus ID。
<account_password>	Enfocus パスワード。

3. スクリプトのファイルを `.command` 拡張子を付けて保存し、**ActivationTool** フォルダに格納します。
4. 端末(アプリケーション>ユーティリティ>端末)を開き、次のコマンドを入力します。

```
chmod 755 <file_path_and_name>
```

<file_path_and_name> はスクリプトのファイルパスと名前です。



ヒント: <file_path_and_name>を入力する代わりに、`.command`ファイルをコマンドラインにドラッグできます。

5. **ActivationTool** フォルダを、製品をアクティベートする必要があるシステムにコピーします。
6. コピーされたフォルダで`.command`ファイルをダブルクリックし、システムで**PitStop Pro**をアクティベートします。
7. **PitStop Pro**をアクティベートするすべてのシステムで、ステップ5と6を繰り返します。



注: 最大アクティベーション数は、ボリュームライセンスプロダクトキーで制限されています。

4.1.6. コマンドライン ツールを使用して**PitStop Pro**をアクティベートする (Windows)

このタスクを使用して、物理的に各コンピュータに移動せずに、ネットワーク上の複数のシステムでをアクティベーションできます。

次の項目が必要です。

- Enfocus ID。Enfocus IDがない場合は、Enfocus Webサイトのアカウントセクションで作成します。
- ボリュームライセンスプロダクトキー
- [ActivationTool.zip](#) (リンクをクリックし、ツールをダウンロードします。)

このタスクを使用して、物理的に各コンピュータに移動せずに、ネットワーク上の複数のシステムでをアクティベーションできます。

コマンドライン ツールを使用して**PitStop Pro**をアクティベートする

1. **ActivationTool.zip**を一時フォルダに展開します。

2. 次の構文でスクリプトを作成します。

```
enfocus_activationtool -act -pk <product_key> -a <account_name> <account_password>
```

ここでは

エントリ	説明
<product_key>	ボリュームライセンスプロダクトキー
<account_name>	Enfocus ID。
<account_password>	Enfocus パスワード。

3. スクリプトのファイルを .bat 拡張子を付けて保存し、ActivationTool フォルダに格納します。
4. ActivationTool フォルダを、製品をアクティベートする必要があるシステムにコピーします。
5. コピーされたフォルダで .bat ファイルをダブルクリックし、システムで PitStop Pro をアクティベートします。
6. PitStop Pro をアクティベートするすべてのシステムで、ステップ4と5を繰り返します。

4.1.7. 使用する Enfocus ライセンスを管理する

Enfocus PitStop Pro をインストールしたら、アプリケーション内から Enfocus PitStop Pro ライセンスを管理できます。たとえば、他の Enfocus ライセンスのステータスをチェックしたり、使用している PitStop Pro のライセンスのアクティベート解除や修復をおこなったり、ライセンス情報を書き出したりすることなどが可能です。

別のシステムにライセンスを移動する前には、ライセンスを無効にする必要があります。これは、システムイメージを使用して1つのシステムを別のシステムに移動する場合にも必要です。

コンピュータのハードウェア特性が変更された場合（新しいネットワークカードまたはメモリを追加した場合など）は、ライセンスの修復が必要になることがあります。

4.1.7.1. PitStop Pro をアクティベート解除する(オンライン)

たとえば、ライセンスを別のシステムに移動するときはこのタスクを使用します。

アクティベーション解除するには PitStop Pro

1. **Enfocus** のバージョン情報 **PitStop Pro** ダイアログボックスのライセンスタブで、無効にするプロダクトキーを選択します。
2. アクティベーション解除中にライセンス情報を書き出しオプションを有効にします。ライセンスファイルをダウンロードできるようになるため、別のシステムで再有効化できます。
3. [アクティベート解除] をクリックします。

4. ダウンロード場所を参照し、[保存]をクリックします。
PitStop Pro はLicensesBackup.htmlライセンスファイルを作成します。PitStop Proがアクティベート解除されます。
5. [閉じる]をクリックします。

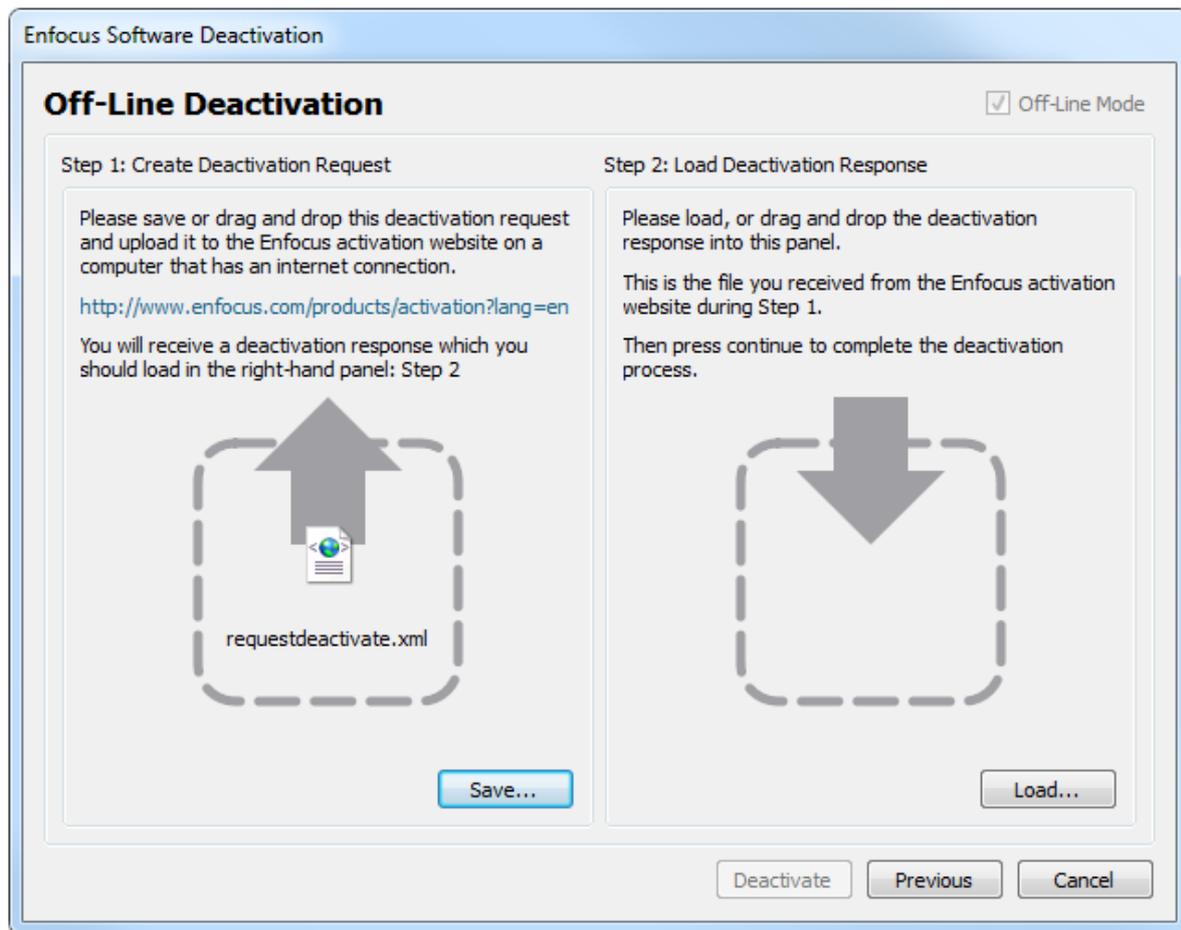
4.1.7.2. PitStop Pro をアクティベート解除する(オフライン)

たとえば、ライセンスを別のシステムに移動するときはこのタスクを使用します。

PitStop Proがインストールされているオフラインシステムの他に、Enfocus Web サーバーと通信するために、インターネットに接続したシステムが必要です。

アクティベーション解除するには PitStop Pro

1. PitStop Proのあるオフラインシステム:
 - a. **Enfocus** のバージョン情報 **PitStop Pro** ダイアログボックスで、無効にするプロダクトキーを選択します。
 - b. ペインの下のオフラインモードを有効にします。
 - c. アクティベーション解除中にライセンス情報を書き出しオプションを有効にします。ライセンスファイルをダウンロードできるようになるため、別のシステムで再有効化できます。
 - d. [アクティベート解除] をクリックします。
 - e. ダウンロード場所を参照し、[保存] をクリックします。
PitStop Pro はLicensesBackup.htmlライセンスファイルを作成し、以下のダイアログボックスを開きます。



- f. [ステップ1]で[保存]をクリックします。
PitStop Proはrequestdeactivate.xmlファイルを作成します。
2. requestdeactivate.xmlをオンラインシステムで使用できるようにします。
例：requestdeactivate.xmlをUSBスティックにコピーし、USBをオンラインシステムに接続します。
3. オンラインシステム:
 - a. <http://www.enfocus.com/products/activation?lang=en>にアクセスします。
 - b. requestdeactivate.xmlをアップロードし、[続行]をクリックします。
 - c. [続行]をクリックして確認します。
Enfocus Webサーバーによって deactivation-response.xml が生成されます。
 - d. ファイルをダウンロードします。
4. PitStop Proのあるオフラインシステム:
 - a. ステップ2で deactivation-response.xml をアップロードします。
 - b. [アクティベート解除]をクリックします。
PitStop Proがアクティベート解除されます。

- c. [閉じる]をクリックします。

4.1.7.3. PitStop Pro の修復(オンライン)

PitStop Proを使用し、ライセンスを修復する必要があることが示されるときにこのタスクを使用します。

修復するには PitStop Pro

1. **Enfocus** のバージョン情報 **PitStop Pro** ダイアログボックスのライセンスタブで、修復するプロダクトキーを選択します。
2. [オフラインモード] ダイアログが表示されます。
3. 修復をクリックします。
システムが **Enfocus Web** サーバーと通信し、ライセンスを修復します。うまく行かない場合は **Enfocus** サポートポータル (<http://www.enfocus.com/en/supportportal>) から **Enfocus** にお問い合わせください。
4. [閉じる]をクリックします。

4.1.7.4. PitStop Pro の修復(オフライン)

PitStop Proを使用し、ライセンスを修復する必要があることが示されるときにこのタスクを使用します。

PitStop Proがインストールされているオフラインシステムの他に、**Enfocus Web** サーバーと通信するために、インターネットに接続したシステムが必要です。

修復するには PitStop Pro

1. PitStop Proのあるオフラインシステム:
 - a. **Enfocus** のバージョン情報 **PitStop Pro** ダイアログボックスのライセンスタブで、修復するプロダクトキーを選択します。
 - b. [オフラインモード] オプションを有効にします。
 - c. 修復をクリックします。
新しいダイアログボックスが表示されます。
 - d. [ステップ1] で [保存] をクリックします。
PitStop Pro は `requestrepair.xml` ファイルを作成します。
2. `requestrepair.xml` をオンラインシステムで使用できるようにします。
例 : `requestrepair.xml` を USB スティックにコピーし、USB をオンラインシステムに接続します。
3. オンラインシステム:
 - a. <http://www.enfocus.com/products/activation?lang=en> にアクセスします。
 - b. `requestrepair.xml` をアップロードし、[続行] をクリックします。
 - c. **Enfocus** ID パスワードを入力し、[続行] をクリックします。
 - d. [続行] をクリックして確認します。
Enfocus Web サーバーによって `response.xml` が生成されます。

- e. ファイルをダウンロードします。
4. PitStop Proのあるオフラインシステム:
 - a. ステップ2でresponse.xmlをアップロードします。
 - b. 修復をクリックします。
PitStop Proが修復されます。うまく行かない場合は Enfocus サポートポータル (<http://www.enfocus.com/en/supportportal>) から Enfocus にお問い合わせください。
 - c. [閉じる]をクリックします。

4.2. サブスクリプションIDのアクティベート（サブスクリプション）

PitStop Proサブスクリプションを購入した場合、サブスクリプションIDを受け取っています。契約期間を開始するには、このIDをアクティベートする必要があります。



注: Enfocus サブスクリプションは Esko ライセンスサーバーでチェックされます。そのため、お使いのプロキシサーバーとファイアウォールの設定 (もしあれば) が、HTTP および HTTPS プロトコルの両方で *.esko.com へのアクセスを許可しているか確認してください。

サブスクリプションIDをアクティベートする

1. [Enfocus Webサイト](#)でアカウントセクションに移動します。
2. Enfocus IDを使用してサインインします。

Enfocus IDはすべての以前のEnfocusアカウント（Webショップ、製品アクティベーション、サポートポータルアカウント）に代わる新しいアカウントです。これから、1つのアカウントだけでEnfocusとすべてのコミュニケーションを行います。古いアカウントをEnfocus IDに変換する方法はありません。既にEnfocusアクティベーションアカウントがある場合でも、もう一度登録する必要があります。登録は非常に簡単です。Enfocus IDの取得リンクをクリックして、画面に指示に従います。

Sign in

Sign in with your Enfocus ID credentials.
Want to [learn more about Enfocus ID?](#)

Email address

annc@enfocus.com

Password [Forgot password?](#)

.....

Keep me signed in

Sign in

No Enfocus ID yet? [Get an Enfocus ID.](#)

3. [サブスクリプションのアクティベート]をクリックします。
4. サブスクリプションIDを入力して、アクティベートをクリックします。

Enter subscription ID

Subscription ID

UPR88KDX

Activate

新しいサブスクリプションが概要に表示されます。ただちにPitStop Proを使用できます。

5. Adobe Acrobatを開き、PitStop Proツールをクリックします（あるいはAdobe AcrobatのツールバーのPitStop Proメニューのエントリ）。
[Enfocus PitStop Pro について] ダイアログ ボックスが表示されます。

6. [ライセンス]タブで、Enfocus ID認証情報（メールアドレスとパスワード）を入力し、サインインをクリックします。

バックグラウンドでは、PitStop Proがライセンスをチェックし、契約期間が終了するまでは、ソフトウェアへのアクセスを許可します。（サブスクリプションのキャンセルにより）終了した場合は、警告が表示されます。

Enfocus IDはサインインした状態です。次回PitStop Proを起動したときに認証情報を入力する必要がありません。ただし、長期間（1か月以上）ソフトウェアを使用していない場合は、もう一度サインインし、PitStop Proでライセンスがまだ有効であることを確認しなければならない場合があります。



注: 別のコンピュータでサブスクリプションライセンスを使用する場合は、サインアウト（PitStop Proから）して、ライセンスを解放し、他のコンピュータでサインインする必要があります。

5. サポートを受ける

5.1. Enfocus ID の管理

Enfocus ID は、Enfocus によるすべての通信に必要なアカウントです。2015年に導入され、バージョン13時点ではすべての製品アクティベーションに必要です。

アカウント情報の確認

1. Enfocus Web サイト (<https://www.enfocus.com/en>) にアクセスします。
2. 画面の右上部で、[サインイン]をクリックします。まだアカウントを持っていない場合は、[Enfocus ID の取得]リンクでアカウントを作成できます。
3. 電子メールアドレスとパスワードを入力して、[サインイン]をクリックします。電子メールアドレスが画面の右上部に表示されます。
4. 名前をクリックします。これにより、アカウントへのアクセスを与えるサブメニューと一緒にメニューが開かれます。
5. このメニューのオプション、たとえば[My Products] > [My Products]をクリックします。今自分のアカウントにいます。メニューからのオプションの付いた黒いメニューバーが見えます。このバーにより1つのセクションから別のセクションに切り替えることができます。

My Enfocus アカウント

Enfocus は以下のセクションから構成されています。

- **マイダッシュボード:** PitStop や Switch の使用方法の概要を示すEnfocusダッシュボードがあります（ソフトウェアから明示的にオプトインした場合）。たとえば、PitStop のダッシュボードでは、プリフライトしたファイルの数、失敗したファイルの数、成功したファイルの数などが表示されます。
- **My Products:** Enfocus ID にリンクしたすべての Enfocus 製品 (従来ライセンスとサブスクリプションの両方) の概要と支払いについて確認できます。ここでは、新規ライセンスの購入や既存のサブスクリプションの更新、過去に購入したサブスクリプション ID のアクティベートなどが可能です。
- **My Appstore:** Enfocus Appstore は、Switch で使うアプリを購入できる Web ショップです。利用可能なすべてのアプリの概要の確認、必要なアプリの購入および管理、サブスクリプションの管理をすることができます。詳細については、Switch ユーザー文書または Enfocus Web サイトの Switch 製品ページを参照してください。



注: Enfocus Appstoreにいと、黒いメニューバーが青に変わります。Enfocus アカウントの他のセクションに戻るには、右上隅にある自分の名前をクリックし、メニューから希望するオプションを選択します。

- **マイアカウント:**
 - [マイアカウント詳細]ページでは、パスワードや連絡先を変更したり、Enfocus 製品情報やプロモーション情報を受け取るかどうかを選択できます。

- マイアカウントケースでは、Enfocusソフトウェアに問題がある場合、（[ホーム]タブのすぐ下にある新規ケースの作成リンクを使い）ケースを記録することができます。または、これまでに提出されたケースの概要を見るため[ケース]タブに切り替えます。



注: 新しいケースを記録する前に、既知の問題と解決方法データベースを確認することをお勧めします。そのためには、[ソリューション]タブをクリックするか、<https://www.enfocus.com/en/support/known-issues-and-solutions>を開きます。

5.2. 問題の場合の対応

問題がある場合は、次のように続行してください。

1. Enfocus Webサイトのマニュアルを見る
 - アクティベーショントラブルシューティングガイドでは、<http://www.enfocus.com/manuals/Extra/ActivationTroubleshooting/home.html>ソフトウェアのアクティベーション関連の問題を解決する方法について明確に説明しています。
 - **PitStop Pro**製品ページのマニュアルには、アクションリストの操作、PitStopレポートテンプレートのカスタマイズ、プリフライトレポートメッセージの詳細など、ソフトウェアと関連トピックについて説明しています<http://www.enfocus.com/en/support/manuals/pitstop-pro-manuals>。ヘルプ>プラグインヘルプ>**Enfocus PitStop Pro**ヘルプ>オンラインドキュメント提供を選択すると、ソフトウェア内からこの情報にアクセスできます。
2. **既知の問題と解決方法のデータベース**を参照してください。ヘルプ>プラグインヘルプ>**PitStop Pro** ヘルプ>ソリューション情報を選択すると、アプリケーション内からこの情報にアクセスできます。
3. お近くのリセラーにお問い合わせください。お問い合わせ情報はEnfocus Webサイト<http://www.enfocus.com/en/support/resellers/>にあります。
4. Enfocus のカスタマーサポートに問い合わせる**問題のレポート 24** ページのを参照してください。

5.3. サポート情報の確認

お使いの Enfocus 製品のバージョン情報の確認

1. 次のいずれかを実行します。
 - Windows では、ヘルプ>サードパーティのプラグインについて>[**Enfocus PitStop Pro** バージョン情報]の順に選択します
 - Mac では、**PitStop Pro**>サードパーティのプラグインについて>**Enfocus PitStop Pro** バージョン情報の順に選択します

[**Enfocus PitStop Pro** について]ダイアログ ボックスが表示されます。

2. [サポート] タブをクリックします。

ソフトウェアのバージョン関連情報すべてとコンピュータシステムの構成が表示されます。

Enfocus サポートチームにこの情報を提供する場合は、クリップボードへコピーボタンをクリックして、[Enfocus サポートポータル](#)のケースの詳細フィールドに内容を貼り付けます。

5.4. 問題のレポート

問題を報告する前に

- 一度[ソリューション情報](#)をご確認ください。データベースに問題解決方法があるかもしれません。
- 無料サポートがライセンスに含まれているかどうか確認してください：[サポートポリシー](#)

問題を報告する手順

1. 次のいずれかを実行します。
 - Enfocus Web サイトの[Enfocus サポートポータル](#)に移動します。
 - ソフトウェアでは、[ヘルプ]>[プラグインヘルプ]>[Enfocus PitStop Pro ヘルプ]>[サポートに問い合わせ]を選択します。Enfocus Web サイトのサポートセクションが表示されます。問い合わせの下にある問題を報告をクリックします。
2. Enfocus ID (通常は電子メールアドレス) とパスワードを使ってログインします。
3. 新規ケースの作成 リンクをクリックします。
4. オンラインフォームに必要事項を入力します。

バージョン番号がわからない場合は、[サポート情報の確認 23](#) ページのを参照してください。
5. 送信またはファイルを添付して送信ボタンをクリックします。

6. PitStop Pro ツール セットの紹介

PitStop Pro は、さまざまな出力メディア用に PDF ファイルを検証 (プリフライト)、編集および修正するための制作ソリューションです。PitStop Pro には、PDF 文書の処理および作業で実行できる 5 つの主な方法があります。各機能は、PDF プリフライト、編集またはファイル修正など異なる目標に対応します。

各機能で使用できる主要ツールを次の表に示します。

機能	プリフライト	修正	編集
編集ツール		✓	✓
プリフライトプロファイル	✓	✓	
グローバル変更		✓	
アクションリスト	✓	✓	✓
Quick Run	✓	✓	✓

主要機能のそれぞれの実行内容およびそれを使用する理由を理解することで、ジョブのタイプごとに適切なツールを選択することができます。各ツールの概要を次に示します。

6.1. ツールの概要

6.1.1. 編集ツール

ページ要素のチェックまたは編集

例のシナリオ

- オブジェクトの特色を別の特色に変更したい。
- 整列されていないオブジェクトを移動する必要がある。
- テキストを編集して、スペルの誤りを修正する必要がある。

説明

インスペクタでは、ページ上の要素または要素の小さなグループを選択して、次のようなパラメータを修正できます。

- カラーの修正
- テキストの編集
- 要素の移動
- 画像解像度の調整

その他の要素コントロール

6.1.2. プリフライトプロファイル

文書全体の問題および修正をチェックする

例のシナリオ

- 文書内のすべての要素をチェックして、RGB カラーで定義されているオブジェクトを検出したい。
- 文書の総インク適用量をチェックしたい。
- 印刷には低すぎる解像度の画像を検出したい。

説明

プリフライトプロファイルを使用すると、プロファイル内で定義されたパラメータについてページまたは文書全体をチェックしたり、一般的な修正の実行および注意が必要な問題の報告を行うことができます。

PitStop Pro には、一般的なほとんどのチェックを含む、事前定義されたプロファイルが数多く提供されています。ただし、制作のニーズに合わせて、プロファイルを編集したり、チェックや修正を調整することもできます。一般的な設定には次の項目が含まれます。

- PDF/X または GWG 準拠のチェック
- フォントのチェック
- フォントの置換またはリマップ
- カラーのチェック
- オーバープリントまたはレイヤーのチェック
- 画像解像度
- 総インク適用量のチェック

その他



注: プリフライトプロファイル内でアクションリストを使用して、プリフライトプロファイルの実行時に適用可能な修正を拡張できます。プリフライトプロファイル内でアクションリストを使用する方法に関する詳細については、リファレンスガイドを参照してください。

6.1.3. グローバル変更

文書全体の属性または属性セットを変更する

例のシナリオ

- *Courier* として定義されているフォントを別のフォントに変更する必要がある。
- 文書で使用されているブラックおよびグレーをすべてクリーンアップしたい。
- 文書のすべてのページにグラフィックを追加したい。

説明

グローバル変更は、Enfocusが提供する定義済みの変更であり、要素、ページ、文書全体に適用できます。グローバル変更は修正できませんが、ほとんどには修正条件を満たすために変更可能な設定があります。一般的なグローバル変更には次の項目が含まれます。

- カラー モデルの変更
- フォントのリマップ
- フォントをアウトラインに変換
- ページ番号を追加
- ブリードの拡張
- 画像のリサンプリング

6.1.4. アクションリスト

文書全体で単一のオブジェクト タイプのパラメータを変更する

例のシナリオ

- 「ブルー」のカラーのテキストのみを 100% ブラック (K) に変更したい。
- すべての偶数ページを選択して左に移動し、すべての奇数ページを右側に移動したい。
- 印刷機へ送る準備のできた PDF 文書をタブレット コンピュータ用に最適化された PDF 文書に変換したい。

説明

アクションリストは、PitStop Pro で使用可能なすべてのチェック、選択、調整を含む PitStop Pro の最も強力な機能です。アクションリストを使用すると、マクロを構築するかのように、アクションのリストを作成し、適切な論理的順序でアクションをスタックして、最終的な機能を作成できます。

上記の例では、「ブルー」のカラーのすべてのテキストを検出する機能を持つアクション リストを作成します。次に、2 番目の機能では、「ブルー」を PMS 300 に変換します。このアクション リストは保存して、後で再利用できます。

6.1.5. QuickRun

最も頻繁に使用する機能の制作マクロを作成する

例のシナリオ

- ほとんどのジョブで使用するいくつかの機能があり、それらの機能へのすばやいアクセスまたはキーボードショートカットを作成したい。

説明

QuickRuns を使用すると、最も一般的な PitStop Pro 機能をすばやくジョブに適用できます。

QuickRuns では、プリフライトプロファイル、グローバル変更、アクションリストのマクロを構築できます。これらのマクロは、ツールバーのお気に入り保存したり、PitStop Pro によって自動的に割り当てられるキーボード ショートカットでアクセスできます。

6.1.6. 変数セット

プロセス時にオーバーライド可能な変数値を定義する:

例のシナリオ

- あらゆる可能なページサイズのチェックを行える、単一のプリフライトプロファイルを作成する。
- 必要に応じてランタイム時に調整可能なプリフライトプロファイル値を作成し、ファイルに含まれるカラー分版の数を正確にチェックできるようにする。

説明

スマートプリフライトは、プリフライトプロファイルの能力を完全に解放し、PDF ファイルのチェックおよび修復を可能にする機能です。スマートプリフライトなしでは、PitStop Pro ユーザーは異なるジョブタイプや仕様を扱うために異なるプロファイルを作成する必要があります。しかし、スマートプリフライトによって、その必要が排除されます。

スマートプリフライトは、ユーザーがプロセス時にオーバーライド可能な変数値を定義したり、特定のチェックの結果に影響するジョブ条件の指定を可能にする規則ベースのチェックを定義することを可能にすることで異なるプロファイルを作成する必要性を排除します。

変数セットには、プリフライトプロファイル内で使用できるスマートプリフライト変数がすべて含まれます。複数の変数セットを作成し、それぞれのセットに複数の変数を定義できます。ただし、PitStop Pro では一度に1つの「アクティブな」変数セットを実行できます。PitStop Server でも作業をしている場合以外は、すべての変数を1つの変数セットに格納しておくことをお勧めします。PitStop Pro の変数には次の3つの主なタイプがあります。

- 定数
- 規則に基づく
- 計算に基づく

7. e ラーニング入門コース

Enfocus Web サイトで[Learn] (<https://www.enfocus.com/en/learn>) の下にある、以下の無料コースを受講することをお勧めします。

PitStop Pro 入門	内容
モジュール 1	試用版のインストールとアクティベート
モジュール 2	ユーザーインターフェイスの参照
モジュール 3	プリセット (アクションリスト、グローバル変更、QuickRun)
モジュール 4	プリフライト中

これらのコースは、PitStop Pro を初めて使用するユーザーに基本的な知識を提供します。

より詳しく知りたい場合

2015 年 7 月の PitStop 月次ワークショップ (全般紹介) や 2015 年 6 月の PitStop 月次ワークショップ (プリフライトについて) など、他の「初心者」コース (ウェビナー、プロダクトムービー、月次ワークショップ) を確認してください。